

経営比較分析表（令和元年度決算）

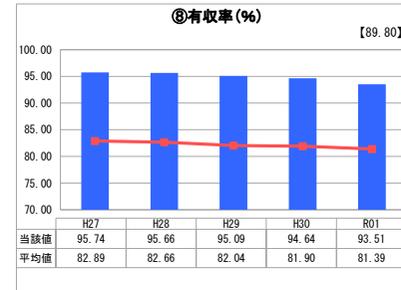
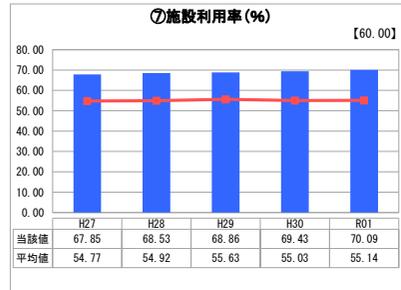
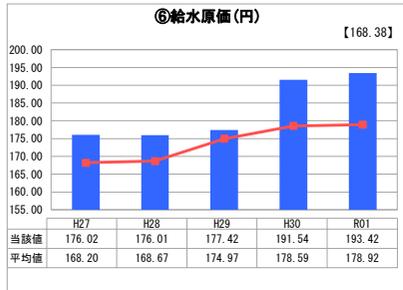
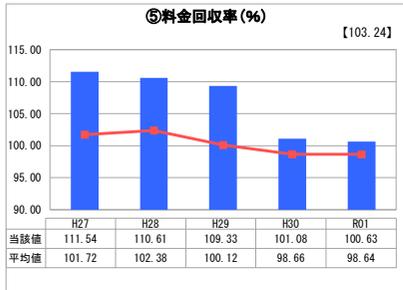
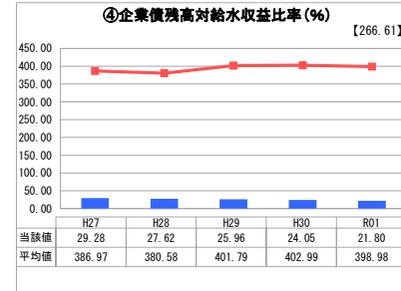
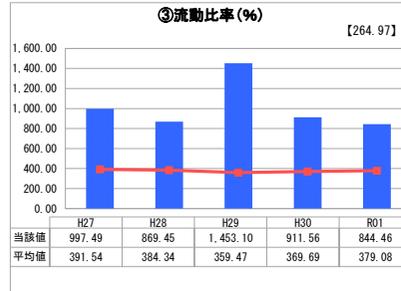
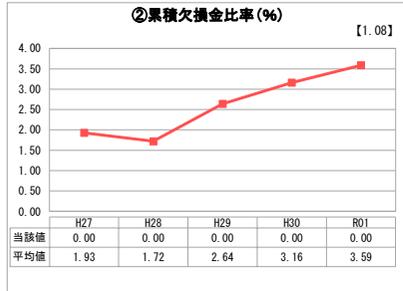
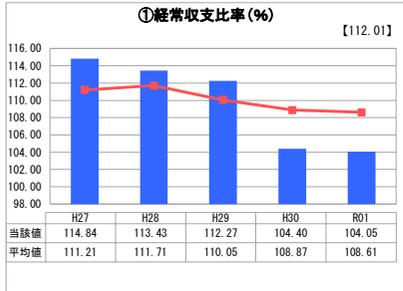
沖縄県 北中城村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	93.31	100.00	3,201	

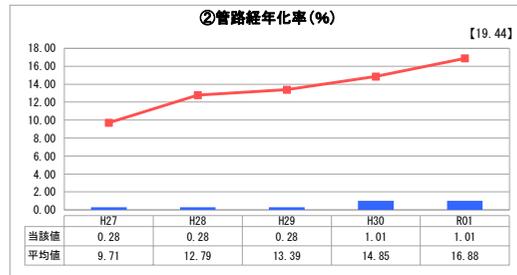
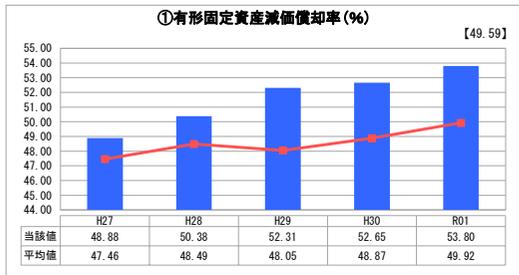
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,510	11.54	1,517.33
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,577	11.54	1,523.14

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ①数値は100%を超えているが年々減少傾向にあるため、引き続き費用削減に努める必要がある。
- ②営業収益に対する累積欠損金は終年発生していない。
- ③前年度に比べやや減少しているが、短期的な債務に対する支払能力は確保されている。
- ④経年低い数値を示しているが、今後、管路更新や耐震化による投資が見込まれるため、企業債の増加が想定される。
- ⑤数値が年々減少しているため、費用削減に取り組み適切な料金水準を維持するよう努める。
- ⑥数値が類似団体平均値及び全国平均を上回っているため、費用削減等経営改善の検討が必要である。
- ⑦類似団体平均値及び全国平均と比較して高い数値であることから、水道施設の効率性は適正である。
- ⑧数値が年々減少傾向にあるが、類似団体平均値及び全国平均と比較して高い数値であることから、概ね安定した供給ができています。

2. 老朽化の状況について

- ①数値が年々増加傾向にあり、類似団体平均値及び全国平均と比較して高い数値であることから、資産の老朽化が進展している。
- ②類似団体平均値及び全国平均と比較して低い数値である。今後、更新が必要な管路が増加することから計画的に管路更新を進める必要がある。
- ③前年度に比べ数値が減少している。今後、更新が必要な管路が増加することから計画的に管路更新を進める必要がある。

全体総括

現在、経営の健全性・効率性については概ね確保されているが、引き続き費用削減に取り組み健全経営の維持に努める。
今後、更新が必要な管路が増加することから計画的に管路更新を進める必要がある。